

シラバス

科目名		基礎デザイン		担 当 者 名		成田 健志	
学 科		インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授 業 方 法		実習	
認定単位 開講学年		3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	108時間
授業目的		空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。					
授業概要		建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	オリエンテーション			19	オリエンテーション	
	2	オリエンテーション			20	オリエンテーション	
	3	オリエンテーション			21	オリエンテーション	
	4	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎			22	フリーハンドスケッチと平行図法	
	5	スチレンボードによる模型制作(空間模型)			23	平行図法と1点透視図法	
	6	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)			24	1点透視図法と2点透視図法	
	7	スケッチパース、空間のデザイン			25	空間のデザイン1(店舗デザイン)	
	8	グリッドパース、空間のデザイン			26	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)	
	9	木材による模型制作(椅子の模型)			27	空間のデザイン3(2点パース)	
	10	模型による空間構成(立体で考える)			28	建築のデザイン1「公園の休憩所」	
	11	模型による空間構成(コンセプトを考える)			29	建築のデザイン2(模型制作)	
	12	模型による空間構成(素材を考える)			30	建築のデザイン3(模型制作)	
	13	模型による空間構成(仕上げ)			31	中間プレゼンテーション(模型及びコンセプト)	
	14	模型による空間構成(写真撮影)			32	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	
	15	作品をスケッチパースとして描く			33	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	
	16	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習			34	空間のデザイン1「通路空間」	
	17	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習			35	建築のデザイン2(模型制作)	
	18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)			36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。					

シラバス

科目名	インテリアエレメント1		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科 インテリアデザインコース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション1		19	壁・天井材の種類と特徴 ③
	2	オリエンテーション2		20	3. 内装材の施工について ①
	3	オリエンテーション3		21	内装材の施工について ②
	4	<家具>1. 生活と家具について		22	<建具・建具金物・ガラス他>1. ドア製品の種類
	5	2. 家具の分類や機能について		23	2. 和建具の種類・特徴 他 ①
	6	3. 家具の選択要件 他		24	和建具の種類・特徴 他 ②
	7	4. 有名デザイナーの椅子 他		25	3. 洋建具の種類・特徴 他 ①
	8	5. 椅子の構造 他		26	洋建具の種類・特徴 他 ②
	9	6. ベッドの名称・構造 他		27	4. 建具金物の種類・特徴 他 ①
	10	7. 家具金物 他		28	建具金物の種類・特徴 他 ②
	11	8. 家具の素材・塗装 他 ①		29	5. ガラス製品の種類・特徴 ①
	12	家具の素材・塗装 他 ②		30	ガラス製品の種類・特徴 ②
	13	<内装材>1. 各床材の種類と特徴 ①		31	<塗料・塗装>1. 塗料の種類と特徴 ①
	14	各床材の種類と特徴 ②		32	塗料の種類と特徴 ②
	15	各床材の種類と特徴 ③		33	2. 塗装の種類と特徴
	16	各床材の種類と特徴 ④		34	まとめ・確認テスト①
	17	2. 壁・天井材の種類と特徴 ①		35	まとめ・確認テスト②
	18	壁・天井材の種類と特徴 ②		36	まとめ・確認テスト③
成績割合	テスト		85%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率		10%		
	レポート		5%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫				
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰				

シラバス

科目名	基礎デザイン		担 当 者 名	成田 健志	
学 科	インテリアデザイン科大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	3単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	108時間
授業目的	空間の基礎デザインを模型や実物の作品制作を通して学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空間を最大限利用する方法を考え、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授業概要	建築のデザインが2次元(スケッチや図面)と3次元(模型、実物の空間)を行き来する作業の中から出来上がっていくプロセス・方法を作品制作を通して学ぶ。3mの立方体の空間を1/10スケールの模型で制作し、空間を最大限利用する方法を考え、かたちにする。一枚の紙から作る「ランプシェード」では、限られた材料で作られるデザインの可能性を検討し、制作をおこなう。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容			授 業 内 容
	1	オリエンテーション		19	オリエンテーション
	2	オリエンテーション		20	オリエンテーション
	3	オリエンテーション		21	オリエンテーション
	4	紙と鉛筆によるスケッチ、模型製作の基礎		22	フリーハンドスケッチと平行図法
	5	スチレンボードによる模型制作(空間模型)		23	平行図法と1点透視図法
	6	スチレンボードによる模型制作(空間デザイン)		24	1点透視図法と2点透視図法
	7	スケッチパース、空間のデザイン		25	空間のデザイン1(店舗デザイン)
	8	グリッドパース、空間のデザイン		26	空間のデザイン2(アイソメ、1点パース)
	9	木材による模型制作(椅子の模型)		27	空間のデザイン3(2点パース)
	10	模型による空間構成(立体で考える)		28	建築のデザイン1「公園の休憩所」
	11	模型による空間構成(コンセプトを考える)		29	建築のデザイン2(模型制作)
	12	模型による空間構成(素材を考える)		30	建築のデザイン3(模型制作)
	13	模型による空間構成(仕上げ)		31	中間プレゼンテーション(模型及びコンセプト)
	14	模型による空間構成(写真撮影)		32	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)
	15	作品をスケッチパースとして描く		33	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)
	16	光る立体(ランプシェード)エスキス、紙による立体演習		34	空間のデザイン1「通路空間」
	17	光る立体(ランプシェード)制作、パターンによる構成演習		35	建築のデザイン2(模型制作)
	18	作品撮影、プレゼンテーションボード作成(空間デザイン・ランプシェード)		36	プレゼンテーションボード(レイアウト、構成)
成績割合	テスト		60(作品評価)	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率		40%		
	レポート			成績評価	出席率80%以上S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60 R<<実働実践型学習>>20 A<<主体的参加型学習>>20 G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	美術大学で建築を学びました。設計事務所勤務時に美術館・博物館などを担当しました。その後、集合住宅やオフィスなどのデザイン協力や、大学内のキャンパス計画・設計チームに参加しました。住宅・別荘の設計や、室内・外部空間のデザインなどを行っています。				

シラバス

科目名	インテリアエレメント1		担 当 者 名	竹内 美知子	
学 科	インテリアデザイン科大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	各エレメントの基本的な用語や基礎知識を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各エレメントについて学習し、住空間のトータルコーディネーションが適切に行えるようにする。				
授業概要	講義が中心となり、わかりにくい単元ではDVDを用いて映像により理解を深める。				
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション1		19	壁・天井材の種類と特徴 ③
	2	オリエンテーション2		20	3. 内装材の施工について ①
	3	オリエンテーション3		21	内装材の施工について ②
	4	<家具>1. 生活と家具について		22	<建具・建具金物・ガラス他>1. ドア製品の種類
	5	2. 家具の分類や機能について		23	2. 和建具の種類・特徴 他 ①
	6	3. 家具の選択要件 他		24	和建具の種類・特徴 他 ②
	7	4. 有名デザイナーの椅子 他		25	3. 洋建具の種類・特徴 他 ①
	8	5. 椅子の構造 他		26	洋建具の種類・特徴 他 ②
	9	6. ベッドの名称・構造 他		27	4. 建具金物の種類・特徴 他 ①
	10	7. 家具金物 他		28	建具金物の種類・特徴 他 ②
	11	8. 家具の素材・塗装 他 ①		29	5. ガラス製品の種類・特徴 ①
	12	家具の素材・塗装 他 ②		30	ガラス製品の種類・特徴 ②
	13	<内装材>1. 各床材の種類と特徴 ①		31	<塗料・塗装>1. 塗料の種類と特徴 ①
	14	各床材の種類と特徴 ②		32	塗料の種類と特徴 ②
	15	各床材の種類と特徴 ③		33	2. 塗装の種類と特徴
	16	各床材の種類と特徴 ④		34	まとめ・確認テスト①
	17	2. 壁・天井材の種類と特徴 ①		35	まとめ・確認テスト②
	18	壁・天井材の種類と特徴 ②		36	まとめ・確認テスト③
成績割合	テスト		85%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付
	学習態度・出席率		10%		
	レポート		5%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫70% R≪実働実践型学習≫30% A≪主体的参加型学習≫ G≪海外体感型学習≫				
講師プロフィール	長年インテリアデザインオフィス主宰				